

# データヘルス計画

## 第2期計画書

---

最終更新日：平成 30 年 10 月 26 日

双葉電子健康保険組合

## STEP 1-1 基本情報

組合コード	44231
組合名称	双葉電子健康保険組合
形態	単一
業種	その他の製造業

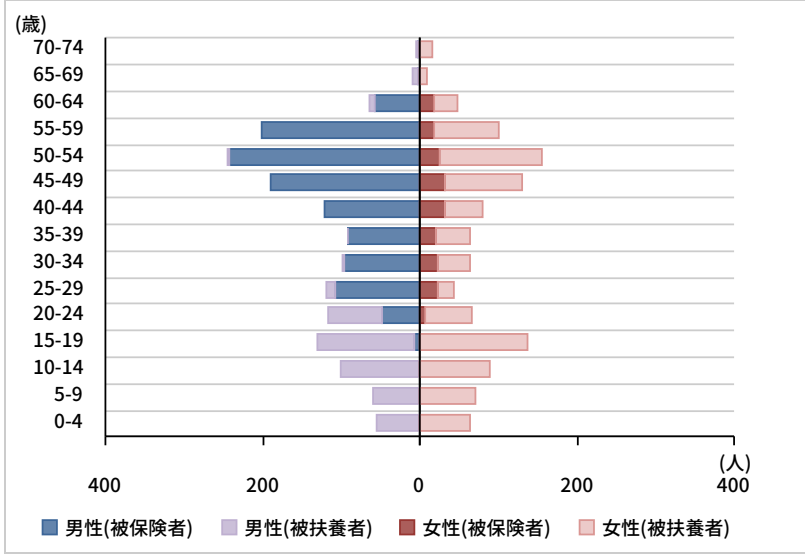
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	1,363名 男性85.6% (平均年齢45.2歳) * 女性14.4% (平均年齢43.7歳) *	1,365名 男性85.2% (平均年齢46.0歳) * 女性14.8% (平均年齢45.4歳) *	1,390名 男性86.1% (平均年齢46.2歳) * 女性13.9% (平均年齢46.1歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	2,743名	2,725名	2,654名
適用事業所数	4カ所	4カ所	4カ所
対象となる拠点数	34カ所	34カ所	34カ所
保険料率 *調整を含む	98.00‰	95.00‰	95‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	0	0	0	1	0	1
	保健師等	1	0	0	0	0	0

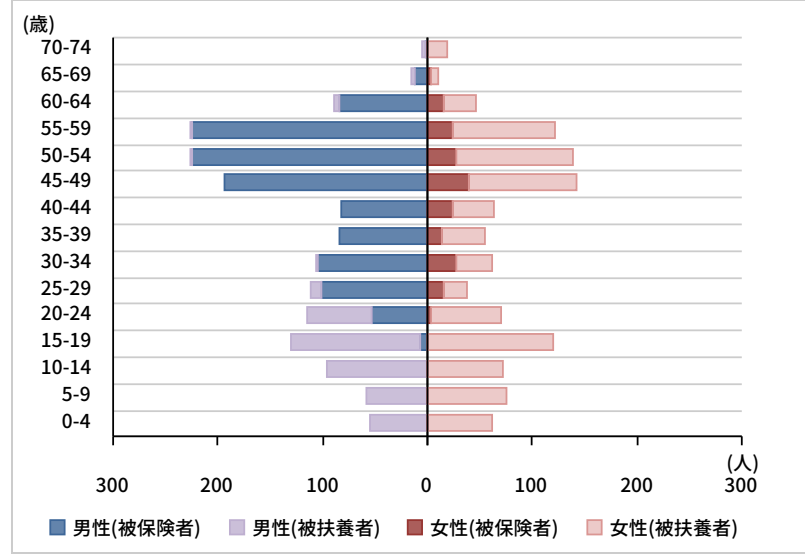
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,028 / 1,291 = 79.6 %	
	被保険者	771 / 857 = 90.0 %	
	被扶養者	257 / 434 = 59.2 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	41 / 206 = 19.9 %	
	被保険者	41 / 196 = 20.9 %	
	被扶養者	0 / 10 = 0.0 %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	1,135	833	1,017	745	1,224	881
	特定保健指導事業費	4,900	3,595	4,080	2,989	4,693	3,376
	保健指導宣伝費	449	329	564	413	566	407
	疾病予防費	12,751	9,355	26,498	19,412	24,925	17,932
	体育奨励費	500	367	1,154	845	1,300	935
	直営保養所費	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	0	0	0	0
	小計 …a	19,736	14,480	33,313	24,405	32,708	23,531
	経常支出合計 …b	729,751	535,401	660,716	484,041	770,630	554,410
	a/b×100 (%)	2.70		5.04		4.24	

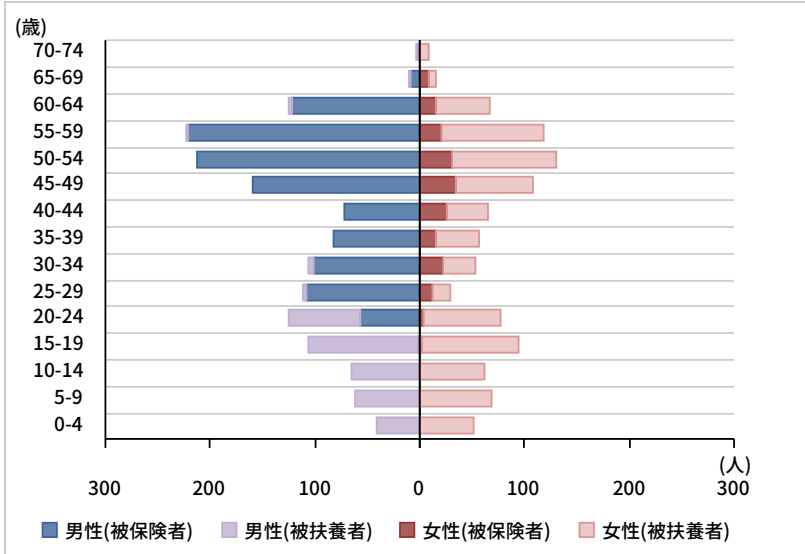
平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



## 男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	8人	10～14	0人	15～19	7人	10～14	0人	15～19	1人
20～24	48人	25～29	108人	20～24	53人	25～29	101人	20～24	56人	25～29	108人
30～34	95人	35～39	91人	30～34	104人	35～39	84人	30～34	101人	35～39	82人
40～44	122人	45～49	189人	40～44	82人	45～49	194人	40～44	72人	45～49	160人
50～54	243人	55～59	201人	50～54	225人	55～59	224人	50～54	212人	55～59	222人
60～64	58人	65～69	2人	60～64	84人	65～69	12人	60～64	122人	65～69	9人
70～74	2人			70～74	2人			70～74	1人		

## 女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	2人
20～24	7人	25～29	22人	20～24	4人	25～29	16人	20～24	4人	25～29	12人
30～34	22人	35～39	20人	30～34	27人	35～39	14人	30～34	22人	35～39	15人
40～44	31人	45～49	31人	40～44	24人	45～49	40人	40～44	26人	45～49	34人
50～54	25人	55～59	19人	50～54	28人	55～59	24人	50～54	31人	55～59	21人
60～64	18人	65～69	1人	60～64	15人	65～69	4人	60～64	15人	65～69	8人
70～74	0人			70～74	0人			70～74	0人		

## 男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	55人	5～9	60人	0～4	55人	5～9	59人	0～4	42人	5～9	61人
10～14	100人	15～19	124人	10～14	96人	15～19	123人	10～14	66人	15～19	105人
20～24	68人	25～29	11人	20～24	61人	25～29	11人	20～24	69人	25～29	4人
30～34	2人	35～39	1人	30～34	2人	35～39	0人	30～34	5人	35～39	0人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	0人	45～49	0人	40～44	0人	45～49	0人
50～54	2人	55～59	0人	50～54	1人	55～59	2人	50～54	0人	55～59	2人
60～64	6人	65～69	8人	60～64	5人	65～69	3人	60～64	3人	65～69	2人
70～74	2人			70～74	3人			70～74	2人		

## 女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	65人	5～9	70人	0～4	61人	5～9	76人	0～4	51人	5～9	69人
10～14	89人	15～19	136人	10～14	72人	15～19	120人	10～14	61人	15～19	93人
20～24	60人	25～29	21人	20～24	67人	25～29	23人	20～24	73人	25～29	17人
30～34	41人	35～39	43人	30～34	34人	35～39	41人	30～34	30人	35～39	41人
40～44	49人	45～49	98人	40～44	40人	45～49	102人	40～44	40人	45～49	74人
50～54	131人	55～59	83人	50～54	112人	55～59	98人	50～54	99人	55～59	97人
60～64	30人	65～69	8人	60～64	30人	65～69	7人	60～64	52人	65～69	6人
70～74	17人			70～74	18人			70～74	9人		

### 基本情報から見える特徴

- 事業主の拠点が海外(14)、国内(20)になる。
- 健保組合には、医療専門職が不在。
- 拠点の被保険者は、1名から100名以上とバラつきがある。
- 45歳から59歳が多く、30歳から39歳が少ないと被保険者構成が偏っているので将来的には、45歳から59歳の世代の健康維持・増進が大事である。

## STEP 1-2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

#### 事業の一覧

##### 職場環境の整備

##### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費のお知らせ配布
保健指導宣伝	健康情報の提供
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品との差額通知

##### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導の実施
特定保健指導事業	糖尿病等慢性疾患の重症化予防
疾病予防	歯科健診の実施
疾病予防	保健師による人間ドック報告書の精査
疾病予防	人間ドックの実施
疾病予防	インフルエンザの実施
体育奨励	健康ウォーキングの実施

##### 事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	5	医療費のお知らせ配布	【目的】加入者に健康や医療に対する理解を深めてもらい医療費コストの低減を意識させる。 【概要】年4回医療費のお知らせを作成し被保険者へ配布。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員		3ヶ月分を纏めて年4回、5月、8月、11月、2月に被保険者へ配布実施。	平成24年度から柔整分の費用記載を継続実施。	年4回発行しているが被保険者には前年と比べ医療費がどうだったかは判り辛い。	5
	5	健康情報の提供	【目的】健康に関する啓蒙活動を行う。 【概要】健保連発行の「すこやか健保」を各事務所へ配布し医療等の情報を提供する。	被保険者	全て	男女	20 ～ 65	全員		99部署に108部を毎月一回送付して部署内にて回覧を実施。		被扶養者への情報提供が不足している。	5
	8	ジェネリック医薬品との差額通知	【目的】ジェネリック医薬品の使用促進をすすめ、調剤医療費の適正化を図る 【概要】健保業務支援システムHiPROSより該当者のデータを抽出して被保険者へ案内資料を送付する。	被保険者 被扶養者	全て	男女	(上限なし) ～ (上限なし)	基準該当者		5千円以上の差額が出る加入者に対して年1回の送付を実施。	平成26年9月～平成27年8月に比べ平成27年9月～平成28年8月は後発薬の処方率は13.43%から14.59%に増加した。	今回の比較期間では投薬全体では約12,500k(先発金額9,800k+後発金額2,700k)の増加傾向であった。今後の推移を注視する必要あり。	1
個別の事業													
特定健康診査事業	1,3	特定健康診査(被保険者)	【目的】特定健診の実施率を向上させることで、加入者の健康維持を図る 【概要】事業主が行う定期健康診断と健保が行う人間ドックにて実施し加入者の生活習慣病の危険性がある該当者を把握する。	被保険者	全て	男女	40 ～ 74	全員		特定健診は、事業主健診による一般定期健診と健保主催の人間ドックによる健診で実施している。		特定健診対象者の数%のXMLデータは入手できていない。データ100%を入手する為、事業主との連携を検討する必要がある。	4
	3	特定健康診査(被扶養者)	【目的】特定健診の実施率を向上させることで、加入者の健康維持を図る。 【概要】ドック未受診者で40歳以上の被扶養者に受診券を被保険者経由にて配布し、各自で検査機関へ予約を行い受診してもらい、加入者の生活習慣病の危険性がある該当者を把握する。また人間ドック受診者にはドック受診にて特定健診の代行としている。	被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員		人間ドックの申込みを被保険者経由にて年1回受付(毎年12月に実施)を行い健診する方法と受診券による集団検診A/Bを利用しての健診で実施。		このままでは、実施率の向上は望めないと思われるので、健保からの働きかけが必要と思われる。	1
特定保健指導事業	1,4	特定保健指導の実施	【目的】特定保健指導の実施率を向上させることにより生活習慣及び健康状態の改善を図る。 【概要】人間ドックの健診先及び、事業主から集団検診のXMLデータを入手し、保健支援システムへ取込み階層化の実施から積極的支援・動機付け支援の対象者を抽出し外部へ指導を依頼している。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者		前年度の健診結果から、9月から3月を前期、4月から9月を後期として動機、積極的支援を実施。	北茨城の事業所を対象に含めて、保健指導の実施範囲を拡大。	対象者が海外勤務の場合や営業所勤務などにおいては日程調整が困難な為、指導対応が現在できていない。	5
	1,4	糖尿病等慢性疾患の重症化予防	【目的】被保険者のかかりつけ医と連携し、食事から運動等の支援を行うことで重症化を予防し被保険者に健康な生活を送っていただき医療費の低減を図る。 【概要】外部委託先のプログラムを使い対象者を抽出し、健保から受診案内を行い希望者について実施する。	被保険者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者		平成28年は5名を、平成29年は2名に対して各々6ヶ月間実施した。			5
疾病予防	3	歯科健診の実施	【目的】歯周病と糖尿病関係に着目し歯周病の予防及び早期発見により医療費の抑制及び重篤化の回避を図る。 【概要】40歳以上の被保険者に於いて、歯科のレセプトが無い人を対象に案内(受診券の配布)を行う。	被保険者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者		平成28年度は被保険者に対して3年間歯科未受診者を対象に、平成29年度は1年間未受診者を対象に実施した。		被保険者のみの対応では医療費抑制することは困難と思うので、被扶養者への対応も検討していく必要がある。	1

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	1,3,4	保健師による人間ドック報告書の精査	【目的】健康状態の改善及び早期治療 【概要】健保連より保健師の派遣を受けて、人間ドック報告書を精査し保健師の判断基準にて対象者に情報(パケットやリーフレット等)提供を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ～ 74	全員		人間ドック申込者の結果報告書を確認。 情報提供、及び都度、再検・治療等につき状況を照会している。		再検や治療等開始したかという情報をどの様に把握すればよいかなど確認方法が固まっていない。	4
	3	人間ドックの実施	【目的】健康状態の確認、疾病の早期発見及び治療 【概要】年度の12月末に被保険者(被扶養者含む)から健診機関別の次年度の申込みを受付から予約日設定まで健保で行い年度末に予約の案内を行う。	被保険者 被扶養者	全て	男女	20 ～ 74	全員		被保険者は全員、被扶養者は25歳以上を対象に実施。 受診者には10,800円(消費税込)の補助を支給。		勤務地の状況により、健保に依頼せず、健保と未契約の健診機関で受診している場合、データが取得ができないのでシステムへの入力となされない。(毎年10数名該当)	4
	3,6	インフルエンザの実施	【目的】医療費の抑制及び重篤化の回避 【概要】インフルエンザのシーズン前に接種希望者を募り、受診者名簿を各健診機関へ案内実施。	被保険者	全て	男女	20 ～ 74	全員	926	毎年10月から1月にかけて接種希望者を募集し一人2,000円の補助を実施。 接種機関は工場勤務者に対しては契約病院、営業所等勤務者は各自にて対応して領収書にて清算して対応。		被扶養者に対しても、補助金額・対象者の絞り込み等を踏まえ、接種する方向で検討が必要。	4
体育奨励	5	健康ウォーキングの実施	【目的】被保険者の健康増進を図る。 【概要】春秋の2回(各2ヶ月間)参加者を募り8,000歩/1日以上を目標としてウォーキングを行う。	被保険者	全て	男女	18 ～ 65	全員		春4月～5月、秋10月～11月の期間にて参加者を各回募り実施している。参加者には複数の参加賞から希望するものを配布している。	秋の開催分から、参加者の年齢構成や月単位の状況を纏め、参加者へ情報提供した。	厚生省が示す目標値(男性9,200歩 女性8,300歩)には及ばないので歩数を増加させる為の施策を検討する必要がある。	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

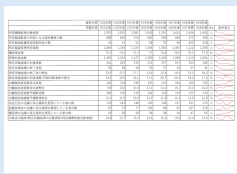


## STEP 1-3 基本分析

### 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		一人当たりの医療費(診療年月集計)	医療費・患者数分析	一人あたりの医療費（健康保険組合が支出した保健給付費）は平成26年度から平成27年度に前年度比約12%増加したものの、平成28年度以降は若干の変動はあるものの横ばいで推移している。
イ		年度別疾病分類別一人当たりの医療費	医療費・患者数分析	特筆すべきは、00:歯科、02:新生物、03:血液・造血管器・免疫障害、04:内分泌・栄養・代謝疾患、09:循環器系疾患、10:呼吸器系疾患、11:消化器系疾患、の7疾病が1人当たり医療費が約10,000円以上あり、その他の疾病との差がかなり大きい。その中でも00:歯科が2017年度(実推)17,000円以上になっている。
ウ		生活習慣病別 診療年度別医療費総額	健康リスク分析	H25年とH29年*を比較すると糖尿病で約1.5倍、高血圧症で約1.1倍、高脂血症で約1.3倍、人工透析は約1.2倍の増加となっている。脳血管障害、虚血性疾患は、H27年、H28年をピークに減少しているように思える。  *H29年度(診療月4月から翌年1月までの10ヶ月の集計)は実績の平均より年間を試算して比較しているが、グラフ上の値は10ヶ月分の集計値を表示している。
エ		歯科 年度別年齢階層別(本人)一人当たり医療費	医療費・患者数分析	70～74歳の層は、H23年が3名から2名、1名と横ばいの状況となり、H29年は2名となっている。医療費のピークH26年は1名の特異的発生と思われる。35～39歳の層から60～64歳の層が段々と医療費が増加してきており、60～64歳の層が1人当たり30,000円になろうかという状況である。
オ		歯科 年度別年齢階層別(家族)一人当たり医療費	医療費・患者数分析	70～74歳の層は、H23年の53名から段々と減少し、H29年は27名となっている。45～49歳の層から70～74歳の層が、まんべんなく医療費20,000円代で推移しており、H28年からは、30～34歳及び35～39歳の層が20,000円代に突入してきた。

力

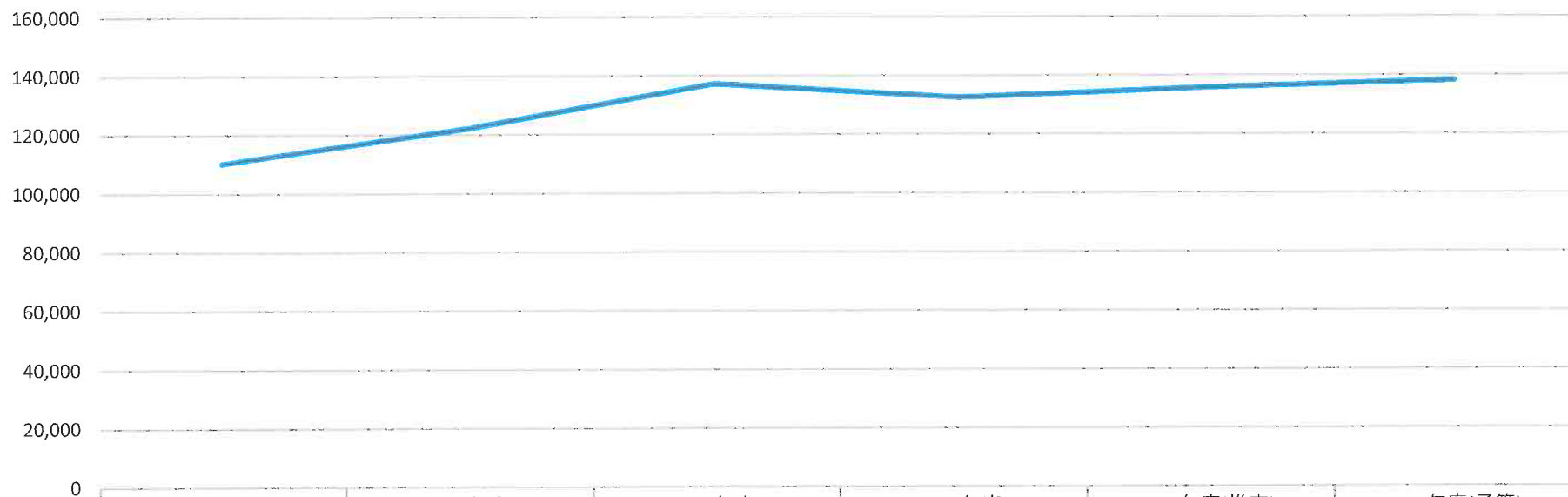


特定健診 特定保健指導 経年変化

特定保健指導分析

当健康保険組合の特定健診は、被保険者は人間ドック受診データと事業主の行う一般健康診断受診データから特定健診データを収集しており約100%に近い受診率となっている。被扶養者については人間ドックと集合契約A、Bでの受診により特定健診データを収集しているが受診率は低く、平成26年度までは、被保険者経由で申込み者を募集していたが、なかなか申込みが増え無い為、平成27年度より対象者全員に受診券を被保険者経由にて送付する方式へ変更した。しかし、集合契約における健診機関が住居地区に少ないことなどから受診率が上がりず、目標を達成できていない状況である。予想以上に被扶養者の受診率を向上させることの難しさが分った。

一人当たりの医療費(円)  
(診療年月集計)



一人当たりの医療費(円)  
(診療年月集計)

H25年度

110,184

H26年度

122,169

H27年度

137,348

H28年度

132,438

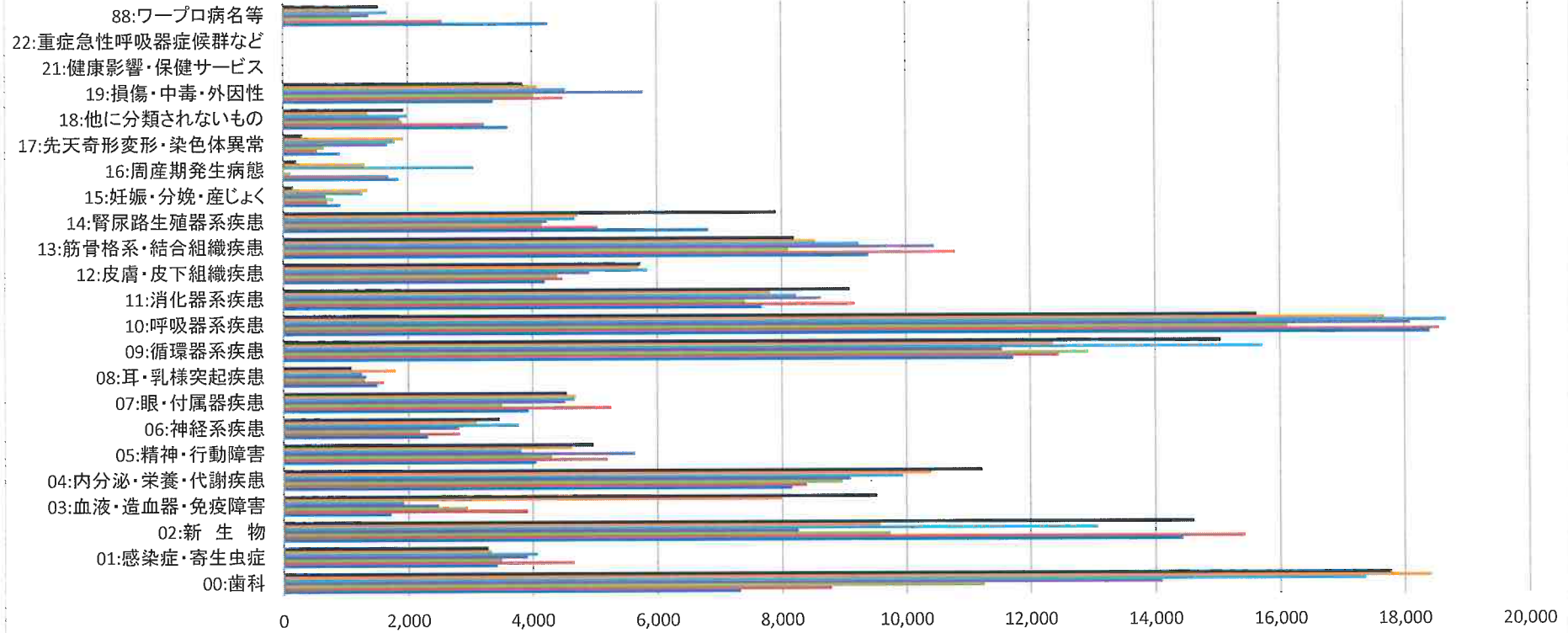
H29年度(推定)

135,669

H30年度(予算)

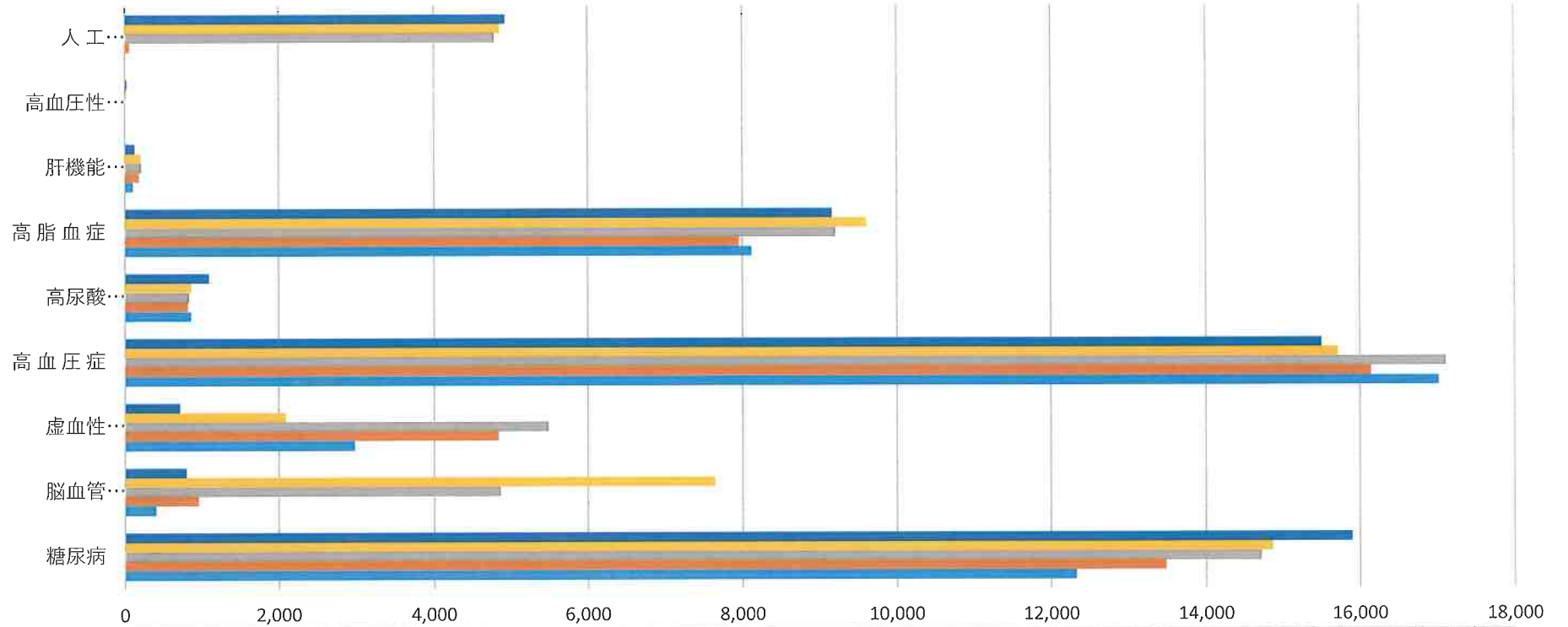
138,083

年度別疾病分類別一人当たりの医療費 (円)



	00:歯科	01:感染症・寄生虫症	02:新生物	03:血液・造血器・免疫障害	04:内分泌・栄養・代謝疾患	05:精神・行動障害	06:神経系疾患	07:眼・付属器疾患	08:耳・乳様突起疾患	09:循環器系疾患	10:呼吸器系疾患	11:消化器系疾患	12:皮膚・皮下組織疾患	13:筋骨格系・結合組織疾患	14:腎尿路生殖器系疾患	15:妊娠・分娩・産じょく	16:周産期発生病態	17:先天奇形変形・染色体異常	18:他に分類されないもの	19:損傷・中毒・外因性	21:健康影響・保健サービス	22:重症急性呼吸器症候群など	88:ワープロ病名等
■ 2017年度(実推)	17,789	3,284	14,610	9,525	11,219	4,977	3,462	4,545	1,088	15,045	15,629	9,096	5,735	8,204	7,916	165	219	317	1,940	3,855	0	0	1,538
■ 2016年度	18,435	3,342	9,588	8,002	10,393	4,634	3,105	4,699	1,804	12,374	17,682	7,814	5,708	8,557	4,743	1,358	1,316	1,938	1,359	4,092	0	0	1,080
■ 2015年度	17,377	4,076	13,081	1,931	9,947	3,824	3,779	4,674	1,261	15,727	18,686	8,238	5,847	9,245	4,689	1,279	3,061	1,799	2,000	4,540	0	0	1,674
■ 2014年度	14,102	3,917	8,267	2,486	9,099	5,637	2,816	4,527	1,331	11,543	18,096	8,628	4,914	10,458	4,241	693	18	1,678	1,876	5,789	0	0	1,383
■ 2013年度	11,249	3,508	9,743	2,955	8,972	4,302	2,181	3,513	1,305	12,936	16,122	7,414	4,406	8,112	4,161	816	128	661	1,915	4,035	0	0	1,107
■ 2012年度	8,791	4,667	15,438	3,926	8,397	5,198	2,826	5,268	1,609	12,459	18,567	9,181	4,489	10,788	5,060	715	1,697	549	3,235	4,496	0	0	2,562
■ 2011年度	7,331	3,433	14,446	1,727	8,164	4,059	2,312	3,941	1,505	11,726	18,414	7,679	4,207	9,402	6,828	927	1,858	921	3,620	3,385	0	0	4,262

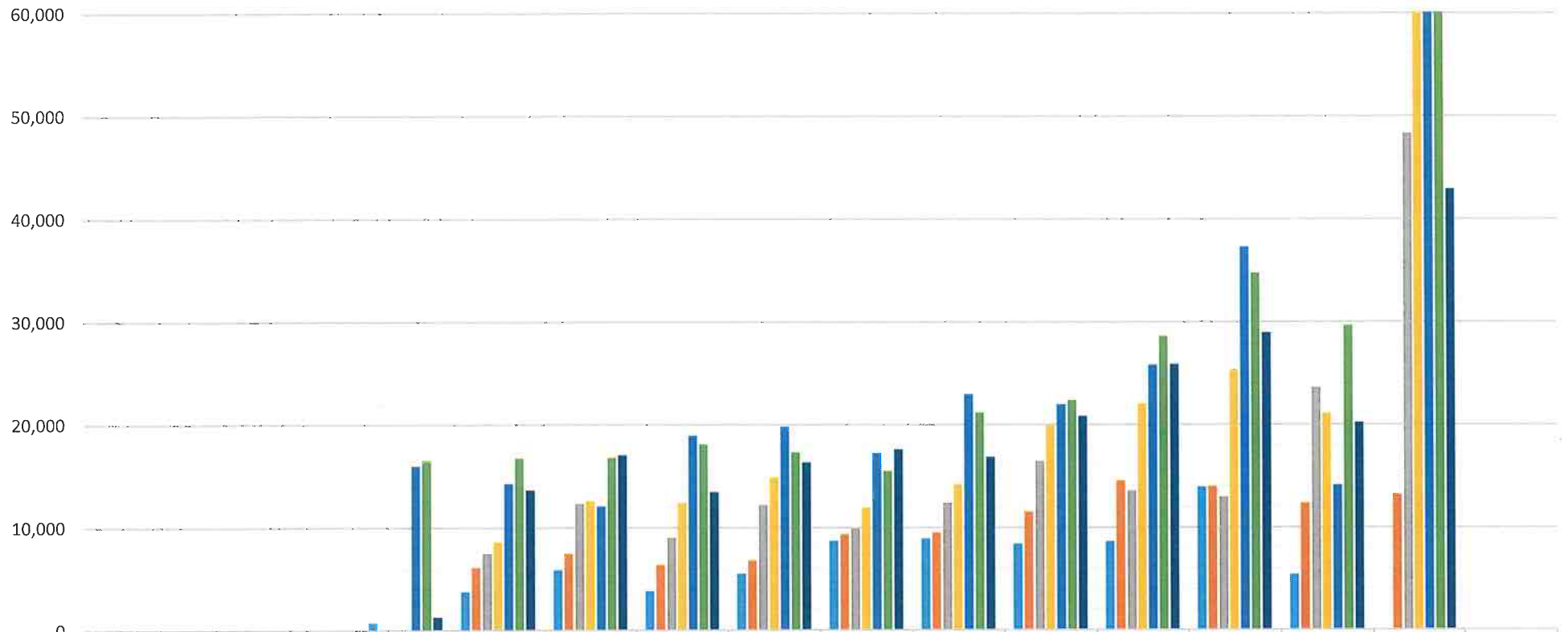
生活習慣病別 診療年度別医療費総額(k¥)



	糖尿病	脳血管障害	虚血性心疾患	高血圧症	高尿酸血症	高脂血症	肝機能障害	高血圧性腎臓障害	人工透析
H29	15,905	809	723	15,506	1,102	9,168	137	33	4,934
H28	14,874	7,646	2,097	15,724	875	9,620	215	24	4,866
H27	14,715	4,864	5,491	17,113	840	9,210	216	0	4,793
H26	13,492	969	4,839	16,154	830	7,960	196	0	70
H25	12,332	411	2,976	17,025	872	8,125	112	0	0

■ H29 ■ H28 ■ H27 ■ H26 ■ H25

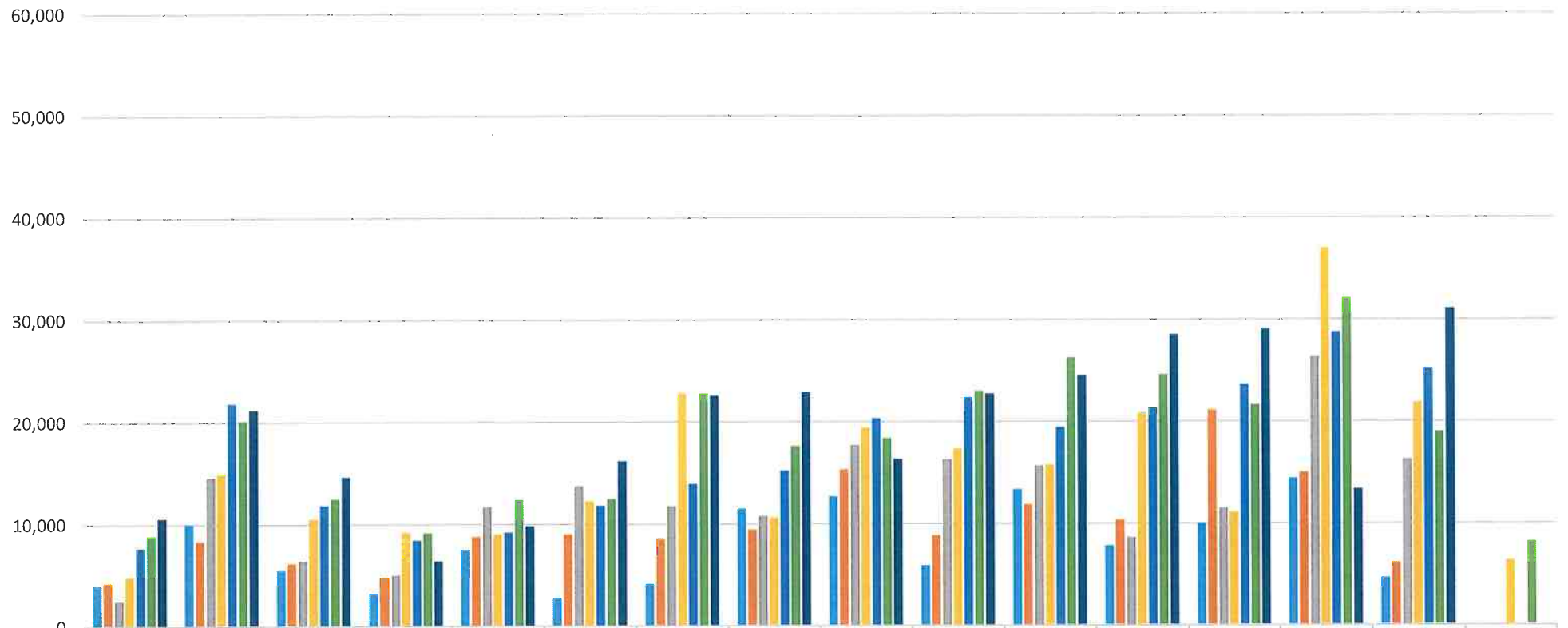
歯科 年度別年齢階層別(本人)一人当たり医療費(円)



	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
■ 2011年度	0	0	0	734	3,731	5,866	3,809	5,486	8,661	8,890	8,368	8,602	13,908	5,389	0	0
■ 2012年度	0	0	0	0	6,082	7,445	6,333	6,758	9,322	9,473	11,503	14,516	13,980	12,342	13,160	0
■ 2013年度	0	0	0	0	7,463	12,316	9,017	12,173	9,921	12,379	16,415	13,538	12,939	23,615	48,300	0
■ 2014年度	0	0	0	0	8,539	12,565	12,376	14,840	11,871	14,133	19,835	21,965	25,262	21,049	130,430	0
■ 2015年度	0	0	0	15,976	14,268	12,069	18,930	19,786	17,230	22,924	21,915	25,758	37,271	14,092	74,730	0
■ 2016年度	0	0	0	16,503	16,737	16,803	18,084	17,294	15,468	21,107	22,356	28,571	34,719	29,592	95,330	0
■ 2017年度(実推)	0	0	0	1,274	13,616	17,043	13,445	16,319	17,579	16,817	20,787	25,836	28,929	20,175	42,900	0

■ 2011年度 ■ 2012年度 ■ 2013年度 ■ 2014年度 ■ 2015年度 ■ 2016年度 ■ 2017年度(実推)

歯科 年度別年齢階層別(家族)一人当たり医療費 (円)



	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
■ 2011年度	3,948	10,002	5,469	3,187	7,520	2,732	4,098	11,463	12,680	5,893	13,357	7,808	10,001	14,407	4,631	0
■ 2012年度	4,205	8,300	6,155	4,778	8,754	8,987	8,521	9,403	15,311	8,821	11,850	10,325	21,084	14,992	6,102	0
■ 2013年度	2,472	14,570	6,425	5,013	11,660	13,686	11,733	10,748	17,694	16,290	15,685	8,605	11,498	26,384	16,271	0
■ 2014年度	4,840	14,901	10,502	9,188	8,980	12,209	22,774	10,575	19,374	17,299	15,727	20,817	11,074	36,983	21,828	6,340
■ 2015年度	7,657	21,817	11,847	8,426	9,200	11,796	13,903	15,210	20,318	22,346	19,436	21,261	23,631	28,730	25,160	0
■ 2016年度	8,847	20,111	12,481	9,170	12,355	12,432	22,709	17,615	18,360	22,985	26,253	24,570	21,607	32,026	18,968	8,170
■ 2017年度(実推)	10,536	21,167	14,613	6,371	9,809	16,148	22,560	22,883	16,332	22,715	24,513	28,514	29,058	13,353	31,049	0

■ 2011年度 ■ 2012年度 ■ 2013年度 ■ 2014年度 ■ 2015年度 ■ 2016年度 ■ 2017年度(実推)



	報告年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度		
	実績年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	単位	経年変化
特定健康診査対象者数		1,925	1,622	1,581	1,643	1,397	1,421	1,406	1,403	人	
特定健康診査の対象となる被扶養者の数		688	645	578	580	494	498	472	466	人	
特定健康診査受診券配布者の数		18	23	24	58	75	66	350	338	人	
特定健康診査受診者数		1,449	1,144	1,125	1,265	1,045	1,087	1,112	1,093	人	
健診受診率		75.3	70.5	71.2	77	74.8	76.5	79.1	77.9	%	
評価対象者数		1,455	1,144	1,127	1,269	1,046	1,088	1,113	1,094	人	
特定保健指導の対象者数		281	223	215	221	217	221	203	186	人	
特定保健指導の終了者数		66	48	38	33	27	33	27	34	人	
特定保健指導の終了者の割合		23.5	21.5	17.7	14.9	12.4	14.9	13.3	18.3	%	
特定保健指導の対象者数/評価対象者数の割合		19.3	19.5	19.1	17.4	20.7	20.3	18.2	17.0	%	
内臓脂肪症候群該当者数		144	144	145	153	147	164	169	155	人	
内臓脂肪症候群該当者割合		9.9	12.6	12.9	12.1	14.1	15.1	15.2	14.2	%	
内臓脂肪症候群予備群者数		180	132	115	142	123	124	122	130	人	
内臓脂肪症候群予備群者割合		12.4	11.5	10.2	11.2	11.8	11.4	11.0	11.9	%	
高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数		174	143	148	169	138	137	161	174	人	
脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数		87	73	77	104	84	87	107	118	人	
糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数		33	26	29	38	38	44	47	55	人	
対象者出現率(特定保健指導の対象者数/特定健康診査対象者数)		14.6	13.7	13.6	13.5	15.5	15.6	14.4	13.3	%	



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	カ	特定健診の被扶養者の受診率が低い	➔	健診受診の必要性を被扶養者に周知していたかなど原因を考え対策を検討する必要がある。	
2	カ	特定保健指導の対象は、初回対象者を実施する選定だった為、対象者が少なくなってきた。	➔	対象者として、海外、工場勤務者以外の加入者の指導方法について対応方法を検討する必要がある。	
3	ア, イ, ウ	00:歯科、02:新生物、03:血液・造血管器・免疫障害、04:内分泌・栄養・代謝疾患、09:循環器系疾患、10:呼吸器系疾患、11:消化器系疾患、の7疾病が1人当たり医療費が10,000円以上あり、その他の疾病との差がかなり大きい。	➔	10:呼吸器系疾患に対して、インフルエンザ予防の推進を行い医療費の抑制を図る。	
4	エ, オ	00:歯科が2017年度(実推)17,000円以上になっている。	➔	現在の40歳被保険者の対象を再検討し各年齢層の動向を確認して対象者を拡大する。	

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>全適用事業所のうち、母体企業の双葉電子工業株式会社に被保険者のおよそ90%が所属している。</li> <li>被保険者の約一割が、海外又は各地区の営業所勤務である。</li> <li>中間層である。30～49歳の層で30～39歳の層が特に少ない。</li> <li>健保組合には、医療専門職が不在。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の被保険者の構成を考え40歳代、50歳代への健康保持の対策を重視する必要がある。</li> </ul>

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>被保険者における人間ドックの受診者は高い。</li> <li>被扶養者の特定健診実施率が被保険者に比べて低い。</li> <li>歯科健診の案内は被保険者のみで被扶養者に対して行っていない。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科健診の対象者を拡大して予防を推進する。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォーキングイベントの参加者が固定化される傾向にある。</li> <li>過去には、運動会などの家族イベントがあったがここ十数年企画がなく体力増強等の啓蒙活動も活発でない。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在は、個人参加型であるが、職場単位、部署単位等人数を確保して参加させるなどの工夫を検討する必要がある。</li> <li>家族で健康増進を推進できる仕組みを検討する。</li> </ul>

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

高血圧症、高脂血症、糖尿病など生活習慣病の対象者が、重症化へ移行する前段階にて減少させることを優先し、一人当たりの医療費を低減させる事を目的とする。

### 事業全体の目標

被保険者、被扶養者共に、特定健診受診率の向上、生活習慣病のハイリスク者の保健指導実施率を向上させ、状況について把握をする。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

特定健康診査事業	健診データ共有
特定保健指導事業	保健師による健診報告書の精査

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費のお知らせ配布
保健指導宣伝	健康情報の提供
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の推進
保健指導宣伝	受診勧奨
予算措置なし	市町村が実施するがん検診の受診勧奨

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導の実施
特定保健指導事業	糖尿病等慢性疾患の重症化予防
疾病予防	歯科健診の実施
疾病予防	人間ドックの実施
疾病予防	インフルエンザの実施
体育奨励	健康ウォーキングの実施

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
特定健康診査事業	1,3,4	既存(法定)	健診データ共有	全て	男女	18~74	加入者全員	3	イ,ウ,シ	-	ア,イ,コ	-	27	-	-	-	-	健診結果を共有し、保健師が精査。精検要の方に素早く案内し、受診を促進する。	00:歯科、02:新生物、03:血液・造血器・免疫障害、04:内分泌・栄養・代謝疾患、09:循環器系疾患、10:呼吸器系疾患、11:消化器系疾患、の7疾病が1人当たり医療費が10,000円以上あり、その他の疾病との差がかなり大きい。	
													健診結果授受(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)	事業を実施したことによる成果について測る方法が確認できていないので、当面はアウトカムを設定しない。(アウトカムは設定されていません)						
特定保健指導事業	4,6	既存(法定)	保健師による健診報告書の精査	全て	男女	18~74	加入者全員	3	イ,シ	-	イ	-	96	96	96	96	96	96	健康状態の改善及び早期治療	00:歯科、02:新生物、03:血液・造血器・免疫障害、04:内分泌・栄養・代謝疾患、09:循環器系疾患、10:呼吸器系疾患、11:消化器系疾患、の7疾病が1人当たり医療費が10,000円以上あり、その他の疾病との差がかなり大きい。
													ドック受診者の全件精査(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)実施の促進	状況確認書の回収(【実績値】35.1% 【目標値】平成30年度:80% 令和元年度:80% 令和2年度:80% 令和3年度:80% 令和4年度:80% 令和5年度:80%)実施者の健康改善						
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	5	既存	医療費のお知らせ配布	全て	男女	0~74	被保険者,被扶養者	1	ス	-	ス	-	100	100	100	100	100	100	加入者に健康や医療に対する理解を深めてもらい医療費コストの低減を意識させる。不正(過剰・架空)請求のチェック。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													配布回数4(【実績値】4回 【目標値】平成30年度:4回 令和元年度:4回 令和2年度:4回 令和3年度:4回 令和4年度:4回 令和5年度:4回)該当者への情報提供	意識啓発の具体的な効果測定が困難な為(アウトカムは設定されていません)						
5	既存	健康情報の提供	全て	男女	18(上限なし)~(上限なし)	被保険者,被扶養者	1	ス	-	機関誌の内容はホームページでも紹介。	ス	-	97	97	97	97	97	97	健康に関する啓蒙活動を行う。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													配布回数12(【実績値】12回 【目標値】平成30年度:12回 令和元年度:12回 令和2年度:12回 令和3年度:12回 令和4年度:12回 令和5年度:12回)該当者への情報提供	事業を実施したことによる成果について測る方法が確認できていないので、当面はアウトカムを設定しない。(アウトカムは設定されていません)						
7	既存	ジェネリック医薬品の推進	全て	男女	(上限なし)~(上限なし)	基準該当者	1	キ	-	ス	-	-	6	6	6	6	6	6	ジェネリック医薬品の使用推進をすすめ、調剤医療費の適正化を図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													差額通知発行(【実績値】1回 【目標値】平成30年度:1回 令和元年度:1回 令和2年度:1回 令和3年度:1回 令和4年度:1回 令和5年度:1回)差額配布の通知	投薬金額全体に対する後発金額の割合(【実績値】15.75% 【目標値】平成30年度:17% 令和元年度:18.25% 令和2年度:19.5% 令和3年度:20.75% 令和4年度:22% 令和5年度:23.25%)薬剤費の軽減						
2,4	新規	受診動奨	全て	男女	40~74	基準該当者	1	イ,ウ	-	ケ	-	-	68	-	-	-	-	-	受診率を上げ、早期発見、早期治療。	特定健診の被扶養者の受診率が低い 00:歯科が2017年度(実推)17,000円以上になっている。
													受診動奨回数(【実績値】- 【目標値】平成30年度:1回 令和元年度:1回 令和2年度:1回 令和3年度:1回 令和4年度:1回 令和5年度:1回)-	受診動奨後受診率(【実績値】- 【目標値】平成30年度:50% 令和元年度:50% 令和2年度:50% 令和3年度:50% 令和4年度:50% 令和5年度:50%)-						

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連												
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																		
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度											
アウトプット指標												アウトカム指標																			
予算措置なし	2,4	新規	市町村が実施するがん検診の受診勧奨	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ク	-	ス	-	人間ドックの申し込みがない特定健診受診対象者に対し、市町村が実施するがん検診の日程表を送付。	継続	継続	継続	継続	継続	比較的低料金で受診できる市町村で行っている、がん検診の案内をし、早期発見のため受診勧奨をする。	00:歯科、02:新生物、03:血液・造血器・免疫障害、04:内分泌・栄養・代謝疾患、09:循環器系疾患、10:呼吸器系疾患、11:消化器系疾患、の7疾病が1人当たり医療費が10,000円以上あり、その他の疾病との差がかなり大きい。											
配布率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												事業を実施したことによる成果について測る方法が確認できていないので、当面はアウトカムを設定しない。(アウトカムは設定されていません)																			
個別の事業																															
特定健康診査事業	8	既存(法定)	特定健康診査(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	1	ア,イ,シ	-	ア,イ	事業主とも連携し、健診受診向上を図る。被保険者に関する健康課題の分析を行う。	27	27	27	27	27	27	特定健診の受診率を向上させ、加入者の健康維持を図る	該当なし											
													受診率(【実績値】92.86% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-												特定健診の実施率(【実績値】95.35% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)-						
													1,083	896	860	961	1,112	1,286	40歳以上の対象者441名の内、集合契約の健診で150名が受診すると想定。また、人間ドックでは130名の受診者と想定する。受診券配布から3か月後、未受診の方にパンフレット、手紙、電話などで受診勧奨をする。	40歳以上の対象者422名の内、集合契約の健診で124名が受診すると想定。また、人間ドックでは130名の受診者と想定する。過去の健診データ情報を送付し、自分の健康、健診に関心を持ってもらう。集団会場、移動健診など受診し易い環境を整える。	40歳以上の対象者412名の内、集合契約の健診で119名が受診すると想定。また、人間ドックでは130名の受診者と想定する。	40歳以上の対象者410名の内、集合契約の健診で133名が受診すると想定。また、人間ドックでは130名の受診者と想定する。	40歳以上の対象者401名の内、集合契約の健診で154名が受診すると想定。また、人間ドックでは130名の受診者と想定する。	40歳以上の対象者395名の内、集合契約の健診で178名が受診すると想定。また、人間ドックでは130名の受診者と想定する。	特定健診の受診率を向上させることで、加入者の健康維持を図る。	特定健診の被扶養者の受診率が低い					
受診券の配布率100(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)被保険者経由にて被扶養者へ受診券の配布。健診実施の促進(目標実施率80%)												特定健診実施率78(【実績値】44.67% 【目標値】平成30年度：59.2% 令和元年度：60.2% 令和2年度：60.4% 令和3年度：64.1% 令和4年度：70.8% 令和5年度：78.0%)被扶養者の健康増進のため、健康状態の把握。																			
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導の実施	全て	男女	40～74	基準該当者	1	オ,コ	-	イ,ウ	動機づけ支援25名、積極的支援16名 合計41名 保健指導対象者206名とし、実施率19.9%を目標とする。	1,940	-	-	-	-	-	特定保健指導の実施率を向上させることにより生活習慣病及び健康状態の改善を図る。	特定保健指導の対象は、初回対象者を実施する選定だった為、対象者が少なくなってきた。											
													脱落者の人数0(【実績値】0人 【目標値】平成30年度：0人 令和元年度：0人 令和2年度：0人 令和3年度：0人 令和4年度：0人 令和5年度：0人)実施の促進												特定保健指導実施率55(【実績値】31.6% 【目標値】平成30年度：19.9% 令和元年度：25.1% 令和2年度：30.0% 令和3年度：35.0% 令和4年度：45.1% 令和5年度：55.0%)実施者の健康改善						
													2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	健保連千葉連合会の主催する保健事業の共同事業に参加し、(株)DPPヘルスパートナーズの協力のもと特定保健指導データを基に対象者を抽出し指導する。(該当者10名を想定)	動機づけ支援32名、積極的支援21名 合計53名 保健指導対象者211名とし、実施率25.1%を目標とする。特定健診とのセット券を発行し、特定健診を受診機関にて保健指導をすぐ受けられるようにする。モデル実施。ICTを活用。	動機づけ支援38名、積極的支援26名 合計64名 保健指導対象者213名とし、実施率30.0%を目標とする。	動機づけ支援46名、積極的支援31名 合計77名 保健指導対象者220名とし、実施率35.0%を目標とする。	動機づけ支援61名、積極的支援41名 合計102名 保健指導対象者226名とし、実施率45.1%を目標とする。	動機づけ支援76名、積極的支援51名 合計127名 保健指導対象者231名とし、実施率55.0%を目標とする。	被保険者のかかりつけ医と連携し、食事から運動等の支援を行うことで重篤化を予防し被保険者に健康な生活を送っていただき医療費の削減を図る。	該当なし					
対象者の脱落者を0名(【実績値】- 【目標値】平成30年度：0人 令和元年度：0人 令和2年度：0人 令和3年度：0人 令和4年度：0人 令和5年度：0人)-												医療費の効果が確認できるのには数年かかるので当面の間アウトカム指標を設定しない。(アウトカムは設定されていません)																			
													1,350	-	-	-	-	-													

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
疾病予防	3	既存	歯科健診の実施	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ウ	-	ケ	-	40歳以上の被保険者、被扶養者に於いて、1年間のレセプトから歯科受診の有無をチェックし未受診の方に対して案内及び受診券の配布を行う。2,500円(税別)補助金有り。受診券配布から3か月後、未受診の方に電話、文書などで受診勧奨実施。	継続	継続	継続	継続	継続	歯周病と糖尿病の関係に着目し歯周病の予防及び早期発見により医療費の抑制及び重篤化の回避を図る。	00:歯科が2017年度(実推)17,000円以上になっている。
	受診率50(【実績値】9.8% 【目標値】平成30年度:50% 令和元年度:50% 令和2年度:50% 令和3年度:50% 令和4年度:50% 令和5年度:50%)												歯科予防の取組みについて医療費の効果が確認できるのには数年かかるので当面の間アウトカム指標を設定しない。(アウトカムは設定されていません)							
	3	既存	人間ドックの実施	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ,シ	-	ア,イ	-	被保険者全員、被扶養者25歳以上を対象に健保指定の病院にて1泊、日帰りドックを実施。補助金10,000円(税別)有り。	継続	継続	継続	継続	継続	健康状態の確認、疾病の早期発見及び治療。	00:歯科、02:新生物、03:血液・造血器・免疫障害、04:内分泌・栄養・代謝疾患、09:循環器系疾患、10:呼吸器系疾患、11:消化器系疾患、の7疾病が1人当たり医療費が10,000円以上あり、その他の疾病との差がかなり大きい。
	受診率(【実績値】96.4% 【目標値】平成30年度:96% 令和元年度:96% 令和2年度:96% 令和3年度:96% 令和4年度:96% 令和5年度:96%)現在の受診率を維持していく。												事業を実施したことによる成果について測る方法が確認できていないので、当面はアウトカムを設定しない。(アウトカムは設定されていません)							
体育奨励	3	既存	インフルエンザの実施	全て	男女	18～74	被保険者	1	ア	-	ケ	-	10月に被保険者に対して申込みを募り、契約医療機関で10月～12月までに接種を行ってもらう。500名を想定。補助金2,000円有り。	継続	継続	継続	継続	継続	医療費の抑制及び重篤化の回避。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	接種率(【実績値】33.2% 【目標値】平成30年度:40% 令和元年度:40% 令和2年度:40% 令和3年度:40% 令和4年度:40% 令和5年度:40%)申込者を500名として想定												事業を実施したことによる成果について測る方法が確認できていないので、当面はアウトカムを設定しない。(アウトカムは設定されていません)							
	5	既存	健康ウォーキングの実施	全て	男女	18～65	被保険者	1	ア	-	ア	-	被保険者を対象に4月～5月、10月～11月の年2回参加者を募り実施。参加者には健保で用意した参加賞から選択してもらい、渡している。各期間の歩数を申告してもらい、健保で取り纏め報告している。	継続	継続	継続	継続	継続	被保険者の健康増進を図る。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	参加率(【実績値】11.7% 【目標値】平成30年度:20% 令和元年度:20% 令和2年度:20% 令和3年度:20% 令和4年度:20% 令和5年度:20%)												継続率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度:80% 令和元年度:80% 令和2年度:80% 令和3年度:80% 令和4年度:80% 令和5年度:80%)運動習慣の定着							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施  
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築  
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他